Power Amplifier

ナグラ PMA ¥1,560,000(ペア)

●出力:200W(8Ω)●入力インピーダンス:100kΩ●寸法/重量:W380×H300×D380mm/10kg●備考:バランス入力HOT=2番ピン●問合せ先:大場商事㈱☎03(3479)5181

緻密で肌合いよくスムーズ、中庸の美学を感じさせる自然な佇まい

傅 このピラミッド型の筐体が特徴的なモノーラルパワーアンプは、回路もまた特徴的で、電源にスイッチング方式を採用して、非常に効率のよい製品になっていますね。

菅野 かつて日本のヤマハに同じような形のアンプが、やはり奇しくもスイッチング方式でありました。

傅 キャリアの長いオーディオファイルの方は覚えておられるでしょうね、ヤマハのB6というピラミッド型パワーアンプ。ですが、ナグラの設計者はB6の存在は知らなかったそうですよ。

それはともかく、このアンプは、ピラミッドのような尖った音は決して出さない。実にスムーズなサウンドなんですよ。

菅野 これはいい音だよ。

上杉 ナグラはもともと非常に精巧なテープレコーダーで有名ですね。僕はあの小型テープレコーダーを見てうわーっと感激したんですが、このパワーアンプもどこかそういう音のイメージがあるんです。

菅野 ナグラのテープレコーダーの緻密な感じが、音にありますよね。

上杉 また、スイッチングモードの電源というと、僕のような古い人間には、ノイズがのって音に癖が出てくるという先入観があったりもするのですが、そういうところもまったくありません。

菅野 ありませんね。

柳沢 ないどころか……出来の悪いスイッチング電源ではヴォーカルの帯域が汚くなるのですが、このアンプでは逆に非常に中域がいい感じなんです。

上杉 艶やかでね。

三浦 それから効率のよさを反映して、熱をほとんど出さないのもいいですね。以前のFETを使ったプリメインアンプはとても熱くなりましたけれど。

傅 ナグラのアンプの設計者にお会いしたことがありますけど、真空管がお好きな方なんですね。実際真空管を使ったアンプもありますし。

柳沢 それでこんなに肌合いのいい音が出てくるのかもしれないね。

傅 真空管にしてもそのプリメインにしてもこのパワーアンプにしても、音には共通性が感じられますね。柳沢先生がおっしゃった肌合いのよさみたいなものが。

三浦 僕がナグラのアンプでいいなと思うのは、中庸の美学みたいなところなんです。つまりアメリカのアンプのように物量投入型のモンスターをつくるんじゃなくて、ほどよいところで製品をまとめて素晴らしいモデルに仕上げてくるのが凄く魅力的なんです。

柳沢 実際、ドライブ力が物凄いというようなアンプじゃありません。

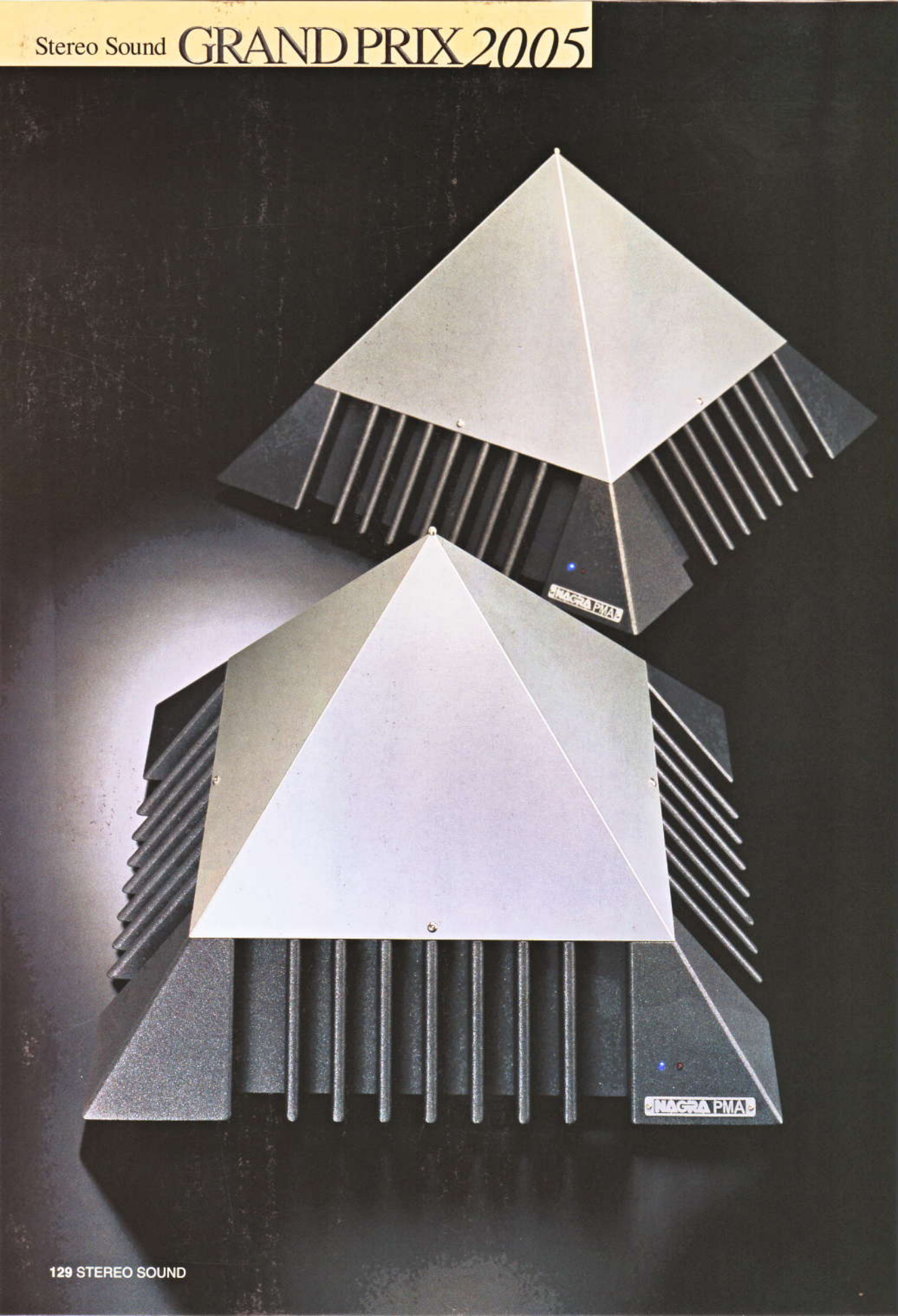
菅野 でも不足はないよ。

柳沢 うん。でもほら、ドライブ力の凄さを感じさせるアンプってあるでしょう。ナグラはそういうタイプではないんですよ。

三浦 そうですね。自然な佇まいの音なんですね。そこが非常に魅力的なんですよ。

プロフィール

スイスのナグラの最新モノーラルパワーアンプ。ダイキャスト製の台座に、電源部、増幅部等主要パーツがすべて搭載されており、50度の傾斜角を持たせることで、最適な放熱効果が得られているという。したがってピラミッドの上部はカバーということになる。出力は8オームで200ワット。厳密にマッチングがとられたMOS-FETをプッシュプル動作とし出力素子に採用している。フォルム同様特徴的なのは電源部。ナグラ独自のスイッチング電源方式を採用し高効率でハイスピード、そしてPFC(パワーファクターコレクター)回路による位相の揃った電源供給を実現しているとのこと。ジュニアモデルに出力100ワットのステレオ機、PSAがある。試聴リポートは155号に掲載。


NAGRA PMA
NAGRA PMA